



発行所 公益財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区 内神田1丁目2番1号
ダコタハウス5階
電話 03 (3518) 6121
FAX 03 (3518) 6122
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動



公益財団法人 漁船海難遺児育英会
理事長 鈴木俊一

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

近年、自然災害が多発する中、昨年も台風の影響で重なる上陸や集中豪雨等、全国各地で大きな被害が発生しました。被災された方々にも心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、漁業にしましては、主要魚種であるイカ・サンマ・秋サケが大不漁で厳しい状況にあります。海水温の上昇など海洋環境の変化が、魚の来遊や資源に何らかの影響を及ぼしているものと見られておりますが、今年こそは漁獲量の回復を願うばかりです。

水産改革においては、一昨年12月の漁業法等の改正を受けて、わが国漁業の成長産業化に向けた本格的な改革が始まりました。漁業者自らが改革の意識を強く持つて、浜の活力再生プランの取組みを推進する等、改正法を転機として、資源の維持・回復にさらに努め、将来を見据えた漁業再生が図られることを改めて期待する次第です。

本育英会におきましては、遺児たちの就学支援の充実を図る観点から、昨年4月より大学生等奨学生について奨学金貸与制度を改

め、幼児から高校生と同様に返還を伴わない学資給与とすることと致しました。設立当初は、小・中学生に対する給食費程度の学資給与制度から始まりましたが、その後、多くの支援者からのご協力により給与額の増額等事業の改善・充実を図って参ることが出来ました。これまでの、全国の支援者および関係各位のご尽力に対して改めて厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、本年10月には本育英会は設立50周年を迎えます。これもひとえに、長年にわたる皆さまの温かいご支援並びにご協力の賜物と感謝する次第です。

今後とも、皆さまから託されたご厚志を海難遺児・遺族のために十分に役立てていくため、一層の努力をして参る所存でありますので、引き続き、皆さま方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

奨学生の皆さまにおかれましては、進学・就職を控え、希望に満ちた年明けを迎えられた方も多いかと存じます。新しいこの1年、健康に留意され、実り多き年として下さい。

最後に、皆さま方のますますのご発展とご健勝、そして海上安全を祈念申し上げます。年頭の挨拶いたします。



漁船海難遺児を励ます全国協議会
会長 岸 宏

新年明けましておめでとうございます。

漁船海難遺児育英事業につきましましては、常々格別のご支援並びにご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

振り返りますと、昨年は、相次ぐ台風の上陸、記録的な豪雨等の影響により、各地の農林水産業にも大きな被害が発生いたしました。

被災されました皆さまへは、この場をお借りしお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧・

復興をお祈り申し上げます。

昨年は、漁業界においても大きな変化の年となりました。一昨年末、国は漁業の成長産業化と資源管理を両立させ、漁業の再興を図ることを目的に、70年振りに漁業法等を改正しました。

この改正にあたり、JFグループとしましては、現状をしっかりと点検しながら、自らの課題として改革に取り組み、漁業再生へのきつかけとしていくという姿勢を基に、本にしつつ、改正漁業法等の運用にあたっては、改革の実践者であ

年頭挨拶



全国漁協女性部連絡協議会

会長理事 國分豊子



新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、

関係各位の皆さまには、日頃より漁協女性部に対しまして、あたたかくお見守りいただき、そしてまた、ご指導をいただき衷心より感謝申し上げます。

昨年は、新天皇が即位され「平成」から「令和」へと新しい時代の幕開けとなりました。

JFグループにおきましては、昨年11月に「水産業の成長産業化に向けた改革の実践」JFグループが漁業者とともに自ら拓く浜の

未来」と位置づけた、本年から2024年までの新運動方針が決議・採択され、その実践に向けて

る漁業者が理解し、実践できるものとなるよう国に対し求めてきたところとす。

そして、JFグループは昨年11月、安倍総理ご臨席のもと、全国から1千名の漁業代表者に参集いただき、「JF全国代表者集会」を開催し、向こう5か年間の新たな運動方針を決定いたしました。

今回の運動方針は、「漁業者自らが進める浜の構造改革」、「浜の改革を支えるJFグループ自らの改革」、「新たな制度等への的確な対応」、「地域社会・地域漁業への貢献」を重点事項とし、浜プラン・広域浜プランを中心としたこれまでの運動展開の成果を踏まえ、組合員の所得向上に向け、グループ一丸となつて改革に取り組むことを決

活動を更に強化して参りたいと思っております。また、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)と、私たち漁協女性部が目指す社会とはとても近く、SDGsが女性部活動そのものと言つても過言ではありません。住みよい地域づくり、環境保全などSDGsに則つた活動にこれからも取り組んで参りたいと思っております。

今年、オリンピックイヤーでもあります。世界中の方々が日本各地で繰り広げられる競技種目を観戦しに大勢訪れることと思いま

議しました。我々JFグループは、自らの役割と使命を再認識し、直面する諸課題に的確に対応しつつ、新たな運動方針のもと、漁業の成長産業化に向けた浜の構造改革に全力で取り組んで参る所存です。

結びに、被災地域の漁業、漁村の更なる復興・再生をご祈念申し上げますとともに、操業の安全並びに皆さま方のご多幸を祈念申し上げます。

奨学生の皆さまには、日頃より学業、スポーツそしてご家族のお手伝いに励んでいられることと思っておりますが、私たち浜の応援団が見守っていることを忘れずにいて下さい。



奨学生選考委員

委員長 富岡啓二



新年明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

皆さまには、日頃から漁船海難遺児育英会事業に対しまして温かいご支援をいただいておりますことと心から感謝申し上げます。

また、昨年は、夏から秋にかけて台風に伴う大きな災害が発生しま

した。被災地では未だ不自由な生活を強いられる方々も多く、改めてお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、本年は東京2020オリンピック競技大会が7月24日から8月9日まで、また東京2020パラリンピック競技大会が8月25日から9月6日に開催されます。



第6回大漁親子まつり・漁港(みなとまち)コンサート

10月20日(日)、岸和田市地蔵浜(大阪府岸和田市)において「第6回大漁親子まつり(主催:JF岸和田市漁協、大阪府漁中着漁業協同組合、JF春木漁協、みなとオアシス岸和田運営協議会、および同時に第90回漁港(みなとまち)コンサート)が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、府民の皆さんが多数来場し、大阪湾で行われている水産業について改めて理解を深め、イベントやコンサートなど楽しみました。コンサート内で鳥羽一郎さんが「90回目を迎えることができました。海では悲惨な

の50年に亘る歩みをたどるとともに、漁業に殉じた方々の霊を慰め、また遺された子供たちと家族、そして育英事業に支援頂いている方々が一堂に集い、交流、励まし、感謝を行い更なる絆が深まることには大変意義深いと考えますので、是非関係者皆様のご理解、ご協力の下で成功裡に終わることを願っています。

さて、近年のコンピュータ技術や通信技術の発展と普及は、我々の生活を次々とお手軽で便利なものにするとともに、無限の可能性を抱かせてくれます。もう半世紀前にもなりましたが、ヒーローが腕時計で自分の乗り物、因みに流星号という名だったと思います。が、呼び出すと自動運転で流星号がやってくるというアニメがあった、強く憧れた思い出があります。ですが、その夢のようなことがもうすぐ現実になりそうです。

漁業の現場にも、このような技術の導入が徐々に図られてきていますが、乗組員後継者不足に悩む現場では今までの以上のスピードで様々な技術、機器の導入が図られることになると思われています。しかし、ややもすると技術、道具に人が振り回されることになり兼ねませんので、ここは気を付けなければならぬと思っています。

技術や機器の発達で社会のゆとりが無くなってしまふのは本末転倒です、科学が発達しても人を思いやる心と感謝する気持ちは忘れないうように、今年もしっかり意識して日々楽しく暮らしましょう。

最後に、新しい年が奨学生の皆さん、ご家族の皆さま、そしてご支援を頂いている皆様にとつて実り多き年となりますことをご祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

「第70回全国漁港漁場大会(主催:公益社団法人全国漁港漁場協会、橋本牧会長)」が開催されました。橋本会長は、昨年の西日本豪雨に触れながら「(自然災害は)一瞬で人の命を奪い、社会・経済にも大打撃を与える」と述べ、漁村での対策強化が必要と話されました。大会では「令和2年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」付議議案を満場一致で採択されました。

本会においては広島県漁連を中心とする皆さんにご協力いただき、募金活動を行いました。大会主催者はじめ、ご支援いただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

大漁親子まつりとは?

イワシの成魚・未成魚ほか、大阪湾水産物の認知度向上や漁業を通じて地元経済の活性化、大阪湾の環境保全と美化活動の推進を図り、大阪湾水産物の調理方法や加工品の紹介などを通じて、消費者向けの食育活動・交流を行い一層の魚食普及を進めていこうと2013年から開かれているイベント。

事故も多い。少しでも力になればと始めた。」と説明。岡組合長(大阪府漁中着漁協)は「海難遺児のほか、先の台風19号被災者のための募金活動も行っている。被災者に元気を、この岸和田から送っていきたい。」と挨拶。JF共水連の高田明生常務が「鳥羽さんには長く支援をいただいている。このコンサートがさらに続くような体制をつくっていく。」と述べられました。

「第70回全国漁港漁場大会(主催:公益社団法人全国漁港漁場協会、橋本牧会長)」が開催されました。橋本会長は、昨年の西日本豪雨に触れながら「(自然災害は)一瞬で人の命を奪い、社会・経済にも大打撃を与える」と述べ、漁村での対策強化が必要と話されました。大会では「令和2年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」付議議案を満場一致で採択されました。

本会においては広島県漁連を中心とする皆さんにご協力いただき、募金活動を行いました。大会主催者はじめ、ご支援いただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

11月14日(木)〜17日(日)4日間、日比谷公園(東京都千代田区)において「第5回 Japan Fishermen's Festival 2019」全国魚市場&魚河岸まつり(主催:SAKANA & JAPAN PROJECT)ジャパンフィッシャーメンズフェスティバル実行委員会)が11月17日(日)、第7回 Fishery グランプリ(主催:国産水産物流通促進センター)構成員(全国漁業協同組合連合会以下JF全漁連)が開催されました。Fishery グランプリでは「漁師自慢の魚フライドフィッシュ料理コンテスト」と「地域を元気にする国産魚ファーストフィッシュ商品コンテスト」のファイナリストの中から審査員と来場者の投票でグランプリを決めます。試食・投票が行われている間には、さかなクンがお魚の魅力を楽しく教えてくれるステージや、次世代を担う水産高校生による発表などが行われました。



第70回 全国漁港漁場大会

10月29日(火)、ふくやま芸術文化ホール(広島県福山市)において、全国の漁業者及び自治体関係者など約1,300人が集結し、「第70回全国漁港漁場大会(主催:公益社団法人全国漁港漁場協会、橋本牧会長)」が開催されました。橋本会長は、昨年の西日本豪雨に触れながら「(自然災害は)一瞬で人の命を奪い、社会・経済にも大打撃を与える」と述べ、漁村での対策強化が必要と話されました。大会では「令和2年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」付議議案を満場一致で採択されました。

本会においては広島県漁連を中心とする皆さんにご協力いただき、募金活動を行いました。大会主催者はじめ、ご支援いただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

2019年度 第7回 Fishery グランプリ

11月14日(木)〜17日(日)4日間、日比谷公園(東京都千代田区)において「第5回 Japan Fishermen's Festival 2019」全国魚市場&魚河岸まつり(主催:SAKANA & JAPAN PROJECT)ジャパンフィッシャーメンズフェスティバル実行委員会)が11月17日(日)、第7回 Fishery グランプリ(主催:国産水産物流通促進センター)構成員(全国漁業協同組合連合会以下JF全漁連)が開催されました。Fishery グランプリでは「漁師自慢の魚フライドフィッシュ料理コンテスト」と「地域を元気にする国産魚ファーストフィッシュ商品コンテスト」のファイナリストの中から審査員と来場者の投票でグランプリを決めます。試食・投票が行われている間には、さかなクンがお魚の魅力を楽しく教えてくれるステージや、次世代を担う水産高校生による発表などが行われました。



「庄内浜産おさしめ鮭とイクラ漬け丼」(写真上)、「そう介のメンチカツ」(写真下)

(写真提供: JF 全漁連)

本会は、会場内で風船とチラシを配布し「水色の羽根募金」への理解と協力を呼びかけ、たくさんの皆さまより温かいご支援をいただくことができました。

関係者の皆さま並びに、来場者の皆さまに深く感謝申し上げます。

「フィッシュコンテスト」

水産物を手軽・気軽に食べることができる加工食品。現在では全国の商品が續々と選定され、全国のスーパーなどで販売されています。

「フライドフィッシュとは?」

地域ごと、春夏秋冬ごとに全国各地の漁師が選んだ、今一番食べてほしい魚のことで2014年度より全漁連がスタートさせたプロジェクトです。

「フィッシュコンテスト」

魚離れが進んでいる日本。しかしこの「魚の国」には、まだ知られていない水産物がたくさんあります。今まで食べたことがなかった美味しさを知ってほしい。そしてその料理や商品が名物になって地域の観光や産業の活性化につながってほしい。このような願いをこめて2013年度にスタートした日本の水産物に光を当てる「魚の祭典」です。



「フィッシュコンテスト」

水産物を手軽・気軽に食べることができる加工食品。現在では全国の商品が續々と選定され、全国のスーパーなどで販売されています。

「フライドフィッシュとは?」

地域ごと、春夏秋冬ごとに全国各地の漁師が選んだ、今一番食べてほしい魚のことで2014年度より全漁連がスタートさせたプロジェクトです。

「フィッシュコンテスト」

水産物を手軽・気軽に食べることができる加工食品。現在では全国の商品が續々と選定され、全国のスーパーなどで販売されています。

「フライドフィッシュとは?」

地域ごと、春夏秋冬ごとに全国各地の漁師が選んだ、今一番食べてほしい魚のことで2014年度より全漁連がスタートさせたプロジェクトです。

2019ふれあい旅行「栃木県 鬼怒川・日光の旅」参加者の声

奨学生から



「ふれあい旅行」今年のはじめに旅行で一番楽しかったのは、ラフティングです。何故なら、普段体験出来ない5mのガケからジャンプが楽しかったのです。

この旅行では、普段会えない友達と、色々な話ができてうれしかったです。

日光の吊り橋では怖かったですけど、ゆれて楽しかったです。

来年もまた行きたいです。「北海道/中1/K・S/3回目」

「ふれあい旅行」ふれあい旅行の案内が届いた時「今年も行ける。」と思いました。ふれあい旅行で楽しかったことは、全部です。

一番が、鬼怒川のラフティング体験です。初めてのラフティングだったので少し緊張しました。ラフティングの本番の少しの時間に練習しました。本番の時はすごいドキキしました。

あつという間に目的地まで着いて、その場所は5メートルの崖があつて、僕も友人も一人ずつ飛び込みをしました。

人生初の飛び込みでした。すぐあつたです。

飛び込んだ後は、鼻の奥が痛かったです。

飛び込んだ後は、怖かったです。でもすぐスリルがあつて楽しかったです。

今年もすごく楽しかったです。また新しい友達もつくりたいです。

来年もまたいきます。「北海道/小6/高橋幸隆/2回目」

「ふれあい旅行で楽しかったこと」一番楽しかったことは、日光東照宮です。わたしは、れきしが好きなので一度は、行ってみたいのでこの旅行で行けてよかったです。ガイドさんの話では、日光東照宮は、神社とお寺がいっしょになったものなどのことをきいて、日光東照宮には、たくさん

の思いがあります。「長崎県/中1/梅田初音/5回目」

「ふれあい旅行」僕は、大牟田という福岡の端っこにある市に住んでいる道脇です。今回でたぶん5回目くらいになったので、できれば次回を行けたらなあと思います。来年は東京オリンピック2020があるので行けるかどうか不安です。

今回一番楽しかったのは寝る時に、同じ部屋の子供たちとの会話です。寝なくちゃいけないんですけど、おそくまでは起きていませんでしたが、やっぱり久しぶりに会う人たちと話すのは貴重なのでその時をぞんぶんに楽しみました。またバスで移動中はクロ(ワンパクスタッフ)中心となつて話をしたりなどなどをして少し楽しかったです。カツオ(前ワンパクスタッフ)もよかったです。クロも僕はけっこう好きでした。でも今年中学生男子が2人しかいなかったのでも来年はせめて3人くらいにはなつてほしいです。ふれあい旅行はとても楽しくてすごくすきなことだと思つたのでこれからもつづいてほしいです。1年間の中で一番のビックイイベントかもしれない。育英会の人達には本当に感謝しています。これからも育英会のみなさんは頑張ってください。「福岡県/道脇 湊/6回目」

「最後のふれあい旅行で伝えたいこと」私にとってこのふれあい旅行は、一年の中で一番楽しみにしていた行事でした。毎年、

遠い所にいる友達や、これから仲良くなる友達に会うのが待ち遠しく、「早く夏休みにならないかな」と思うほどです。

ふれあい旅行では、数えきれない位、たくさん経験させてもらいました。毎年の企画は、どれも初めてやることばかり。でも、とても楽しく、いい経験になりました。有名な所に行つて見学をしたり、スポーツを体験してみたり、本当に楽しかったです。ホテルやバスの中でみんなと話したり、一緒にご飯を食べたり、ゲームをしたり。退屈することは一度も無かつつと笑つていたと思います。

これからの生活に、ふれあい旅行は無くなつてしまいますが、この行事で出来た沢山の思い出は、一生忘れません。育英会の皆さんやワンパク大学の皆さんなど、この旅行の企画、運営、そして私達のお世話などしてくださった方々に深く感謝しています。本当にありがとうございました。そして、お世話になりました。「福岡県/中3/道脇 琴/7回目」

「ふれあい旅行の思い出」ふれあい旅行は、一年の中で一番楽しみにしていた行事でした。毎年、



「ふれあい旅行」今年3回目の参加になります。毎年参加させていたのですが、今年も最高に楽しく、息抜きの時間をありがとうございました。

今年も、母親だけでは連れて行けない場所をチョイスしてください。親子共々良い経験をさせてもらっています。

「ふれあい旅行」今年3回目の参加になります。毎年参加させていたのですが、今年も最高に楽しく、息抜きの時間をありがとうございました。

保護者から



「ふれあい旅行」今年3回目の参加になります。毎年参加させていたのですが、今年も最高に楽しく、息抜きの時間をありがとうございました。

今年も、母親だけでは連れて行けない場所をチョイスしてください。親子共々良い経験をさせてもらっています。

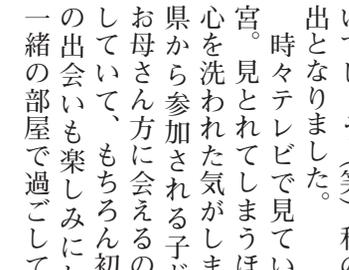
「ふれあい旅行」今年3回目の参加になります。毎年参加させていたのですが、今年も最高に楽しく、息抜きの時間をありがとうございました。



育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

鬼怒川のライン下り、日光東照宮、東武ワールドスクエア。普段いけない所に連れて行ってもらい親子共々最高に楽しめました。このような機会を参加させて頂きありがとうございます。

育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」



育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

鬼怒川のライン下り、日光東照宮、東武ワールドスクエア。普段いけない所に連れて行ってもらい親子共々最高に楽しめました。このような機会を参加させて頂きありがとうございます。

育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

鬼怒川のライン下り、日光東照宮、東武ワールドスクエア。普段いけない所に連れて行ってもらい親子共々最高に楽しめました。このような機会を参加させて頂きありがとうございます。

育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

鬼怒川のライン下り、日光東照宮、東武ワールドスクエア。普段いけない所に連れて行ってもらい親子共々最高に楽しめました。このような機会を参加させて頂きありがとうございます。

育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

2019 ふれあい旅行スケジュール

月	日	曜日	時間	内容
1	7	金	13:00	集合 ふれあい旅行「結団式」
			13:30	ふれあいタイム
			14:00	出発 (バス乗車)
			16:30	「鬼怒川楯岩大つり橋」周辺散策 昨年に続き！つり橋！！眺めは最高でしたが…高所恐怖症の方は…
			18:30	ホテルチェックイン、入浴
			21:00	夕食&交流プログラム
2	27	土	7:00	起床
			朝食	
			9:00	「鬼怒川ラフティング」or「鬼怒川ライン下り」体験 一体感、爽快感、恐怖…そして、絆…。みんなで、たくさんの体験をしました。
			12:30	昼食「手打ちそば・水車蔵」にて
			14:00	世界遺産！！「日光東照宮」見学 ガイドさんについてもらい、いろいろと勉強になりました。
			16:00	ホテル到着
3	28	日	16:45	クラフト体験 (子供)
			18:00	夕食
			21:00	ふれあいタイム (子供)・情報交換会 (保護者)
			7:00	起床
			9:00	朝食
			13:00	「東武ワールドスクエア」 & 「お土産購入」 ミニチュアの世界旅行が出来ました。 東京駅到着 (解散)

育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

鬼怒川のライン下り、日光東照宮、東武ワールドスクエア。普段いけない所に連れて行ってもらい親子共々最高に楽しめました。このような機会を参加させて頂きありがとうございます。

育英会の方々、ワンパク大学のスタッフさん、皆さんありがとうございます。北海道/2回目/高橋幸恵」

野外教育事業所 ワンパク大学

ワンパク大学とは

1976年に伊豆七島・三宅島の観光施設で小学生を対象としたサマーキャンプを始めた団体で、今年40年目を迎える団体です。2016年度のカウンセラーは40期生となり、野外教育の事業において古い歴史と実績がある団体です。

東京都新宿区に拠点を置き、年間を通した自然体験活動（サマーキャンプ、スキーキャンプなど）を実践するほか、本会主催の「ふれあい旅行」のように、小中学校・専門学校などの受託業務や自然体験の活動指導者の養成等もおこなっている団体です。



▲ガバチョ



▲ズミさん

ふれあい旅行では

ワンパク大学のスタッフには子供たちの生活全般（朝食、イベント、お風呂、夕食、ふれあいタイム（遊び）、就寝部屋の見回りなど）を任せています。なので、「うちの子は、人見知りだし…」や「一緒に寝れないのは、不安…」など悩んでいたお母さんも、参加していただくと「私と目も合わせないほど夢中で遊んでいる。」と、ちょっぴり寂しくなれる方もいらっしゃいます。ときに優しく、ときに厳しく、ワンパク大学の理念に沿い、子どもたちの指導をしてくれます。

イベント中に何度かある「ふれあいタイム」では、仲間と協力するゲームや手遊びなどをお母さん達にも参加していただく時がありますが、ここでも子供同様ワンパク大学のスタッフが優しく教えてくれ、楽しませてくれます。

毎回、同行していただいているガバチョ・ズミさん（ワンパク大学のスタッフはみんなあだ名で呼ばれています）は父と母のように、お二人のほかもう一人、誰が来るかお楽しみ(^^)の若いお兄さんは、必ずアイドル的存在になり、イベント中ずっと子ども達に（お母さん達にも?!）囲まれ、解散するとき泣いてしまう子もいるくらいです。

ワンパク大学理念

①ひとづくり

ワンパク大学では自然体験活動を通じて「新しい発見・大きな感動」を体験し、「生活力」「生きる力」を身につけ、感性豊かで生き生きとした「ひと」を育てます。

②いのちのつながり

自然体験を通して、地球にあるすべての“いのち”がよりよく関われる為に行動できることを目指しています。



▲活動風景



ると、また頑張れる気がして、私にとつてはとても意味のある旅行でした。子どもたちは子どもたちなりのとても意味のある大切な思い出となつている事と思います。もし、まだ参加を迷っているお母さんがいらつしやたら是非伝えたいです。絶対参加して下さい。そしてこれからもこのふれあい旅行が続いていく事、たくさんのお母さんが続いていく事を願っています。

謝しています。本当にありがとうございます。海難遺児の子どもたちがステキな大人になってくれるよう、心から願っています。「福岡県/7回目/道脇良子」

「ふれあい旅行」先日のふれあい旅行ではお世話になりました。このふれあい旅行は、毎年子供達と楽しみにしていて、今年から三番目の子供も参加することになりました。東京に着くまでは、他のお友達と仲良くできるかとても心配でしたが、本人はまったく気にせず、楽しそうに話したり、遊



ふれあい旅行に同行して

漁船海難遺児を励ます全国協議会 事務局 青木

今年で開催9回目となる「ふれあい旅行」は、初参加の親子、リピーター親子の8組20名と企画運営スタッフ、主催スタッフ等7名の合計27名により、栃木県の鬼怒川、日光東照宮周辺で実施されました。

鬼怒川でのラフティングに参加したグループは、途中4〜5mの岩の上から鬼怒川へ飛び込むという楽しい冒険付きでしたが、子供たち、ほぼ躊躇なく順番にドボン、特に、小学校2年生のさとしやんとひゅうがくんの元気ある飛び込みは、一回目飛び込むことが出来なかつた私に飛び込む勇気を与えてくれました。感謝、感謝です。

来年はオリンピックが開催される、育英会さんでは設立50周年の記念事業が計画され、育英会に集います奨学生、保護者、支援者の皆さま参加による記念行事、式典の開催に期待したいと思っております。

今年ふれあい旅行を卒業する奨学生は2名、会えなくなるさみしさはありますが、バスの中の2人の挨拶にも成長が、またこれからも成長していく期待が感じられました。

という私も、今年の「ふれあい旅行」が最後になります。改めて、育英会と漁船海難遺児を励ます全国協議会の設立経緯を簡単に説明させていただき、全国の浦浜に奨学生の応援団がいることを忘れずにいていただけたら、うれしいです。

昭和44年に6月JF全漁連とJF全国女性連は、育英事業の実現を図るため、2団体で漁船海難遺児を励ます全国協議会を設置し（漁船海難遺児を励ます運動）の「運動趣意書」を作成

全国の漁協組合員、女性部員へ「運動趣意書」の普及と各都道府県段階での組織（地方協議会）の設置を図る。併せて、全国の漁船海難遺児の実態調査を実施し、募金運動（部員一人当たり100円以上）等により（財）漁船海難遺児育英手当基金（現・育英会）の設立を目指す。

その後、基金（規模4億円）の設立が具体策として明示され、地方協議会、漁協が推進母体となり、目標の達成を目指す。

昭和45（1970）年10月（財）漁船海難遺児育英会が設立され、学資の給与、奨学金の貸与、入学・卒業時の記念品贈呈等の事業が開始される。



寄附者からのお便り

*夏の風物を楽しむこと。暑いと思うか、つらいと思うか、は気持ちのありようでしょうか。（埼玉県）

*温度差の激しい、令和元年の夏。人心が穏やかであつてほしいと思います。（埼玉県）

*毎月送金していますが、今回、台風被害等で困っている方に募金として別に送らせていただきました。（千葉県）

*今年もあと一ヶ月となりました。平凡な日暮しですが全てに感謝です。（埼玉県）

*令和元年もあとわずかです。良き年でしたね。滞ることなく、平成から令和へと受け次がれていく。（埼玉県）

ご寄附のお礼

2019年9月から11月までに
ご寄附を頂いた皆さまの芳名
(敬称略)を掲げ、厚くお礼申し
上げます。

励ましおじさん・おばさん

〔9月〕◎北海道▽本間雅彦◎宮
城県▽畠山和子◎秋田県▽山岸剛
◎茨城県▽常盤和己◎埼玉県▽岩
山裕史▽内海和彦▽小林哲朗▽貴
家誠▽鈴木基之▽西田耕太郎▽深
瀬茂哉▽松本安裕◎千葉県▽石山
新悟▽岩下巧▽大類裕久▽中平和
典▽米田滋▽山崎喜代子▽吉塚靖
浩▽若林満◎東京都▽飯島孝夫▽
奥田勝▽勝野輝美▽榎洗洋代表取
締役磯野洋志▽ターボマシンジャ
パン(株)▽高田明生▽戸田満弘▽根
本京子▽本川一善▽水田正和▽森
健▽渡邊千鶴子◎神奈川県▽石川
和彦▽井上清和▽大森敏弘▽越智
豊子◎静岡県▽古寺建二◎兵庫県
▽佐藤明美▽三木周子◎山口県▽
熊谷佐枝子

水色の羽根募金

1、漁協系統募金(各都道府県の
漁連、信漁連等で構成する「漁船
海難遺児を励ます地方協議会(略
称「地協」)等で取り扱った分、一
般寄附を含みます。)

〔9月〕◎青森県▽JFむつ市▽J
F横浜町▽JF佐井村▽JF三沢
市▽JF白糠▽富山県▽JFくろ
べー自販機売上一部(株)ワンハ
ト經由◎静岡県▽JF伊豆南伊豆
支所◎山口県▽安村淳一▽JF山
口三見支店◎沖縄県▽JF糸満/
(資)カワヒラ商会|自販機売上一部
|ダイドードリンコ(株)沖縄オプ
ス經由

〔10月〕◎北海道▽白老さけ定置
部会|「チェブ祭」さけ売上の一
部◎青森県▽JF青森信漁連◎千
葉県▽JF富津|自販機売上一部
|コカ・コーラ|イーストジャパン
(株)(利根)木更津支店經由◎富山県
▽JFくろべー自販機売上一部|
(株)ワンハート經由◎大阪府▽JF
春木/JF岸和田市|大阪府鯉巾
着網漁協|茅渚の海|第90回鳥羽
一郎漁港(みなとまち)コンサー
ト募金◎兵庫県▽木谷真佐子|亡
きご主人様のご遺志による◎山口
県▽JF山口県 吉佐支店◎沖縄県
▽JF糸満/(資)カワヒラ商会|自
販機売上一部|ダイドードリンコ
(株)沖縄オプス經由

〔11月〕◎北海道▽北海道立漁業研
修所海友祭事項委員会委員長▽羅
白漁業協同組合定置青年会◎千葉
県▽JF館山相浜▽新勝浦市漁協
女性部|勝浦漁協女性部▽JF船
橋市◎富山県▽JFくろべー自販
機売上一部(株)ワンハート經由◎
福岡県▽JF宗像 鐘崎本所|神湊
支所|博多銀鱗会▽JF福岡市能
古支所◎長崎県▽(株)ヤマサ▽三重
地区みなと祭り実行委員会▽JF
長崎漁連◎沖縄県▽沖繩砂利採取
事業協同組合|深田サルベージ建
設(株)|日之出紙器工業(株)▽農林
中央金庫 那覇支店|沖縄県漁協参
事会|第27回チャリティーゴルフ
大会ほか募金▽JF糸満/(資)カワ
ヒラ商会|自販機売上一部|ダイ
ドードリンコ(株)沖縄オプス經由

〔10月〕◎岩手県▽岩手県立久慈東
高等学校PTA◎埼玉県▽磯慎一
▽小野沢通◎東京都▽(公財)海外
漁業協力財団▽石崎信義◎東京岩
水会▽明治大学付属中野八王子中
学校・高校生徒会福祉委員会|文
化祭募金◎神奈川県▽よこすかさ
かな祭り実行委員会|実行委員長府
川一雄|「第18回よこすかさかな
祭り」炭火焼さんまチャリティー
販売売上金(株)横須賀魚市場◎京
都府▽京都府水産事務所◎鳥取県
▽浜野茂夫◎広島県▽第70回全国
漁港漁場大会募金◎福岡県▽第4
回ふくつの古墳まつり実行委員会
▽内浜落語会

編集後記

◆本会役員より年始のご挨拶を
させていただきます。
*新年あけましておめでとうござ
います。
私事で恐縮ですが、人生五回目の
年男を迎えました。
気持ちも新たに精進して参る所存
であります。
*「ナマケモノ」の様にゆっくり
体を動かし、たっぷり汗をかける
ホットヨガを始めて、もうすぐ1
年。身体が少しずつしまっただよ
うな：気がするのにはじぶんだけ
しょうか(笑)。少しでも若々し
くいられるように今年も頑張りま
す。(高橋)

〔11月〕◎北海道▽北海道立漁業研
修所海友祭事項委員会委員長▽羅
白漁業協同組合定置青年会◎千葉
県▽JF館山相浜▽新勝浦市漁協
女性部|勝浦漁協女性部▽JF船
橋市◎富山県▽JFくろべー自販
機売上一部(株)ワンハート經由◎
福岡県▽JF宗像 鐘崎本所|神湊
支所|博多銀鱗会▽JF福岡市能
古支所◎長崎県▽(株)ヤマサ▽三重
地区みなと祭り実行委員会▽JF
長崎漁連◎沖縄県▽沖繩砂利採取
事業協同組合|深田サルベージ建
設(株)|日之出紙器工業(株)▽農林
中央金庫 那覇支店|沖縄県漁協参
事会|第27回チャリティーゴルフ
大会ほか募金▽JF糸満/(資)カワ
ヒラ商会|自販機売上一部|ダイ
ドードリンコ(株)沖縄オプス經由

都道府県別奨学生数

(2019年12月末現在/単位:人)

都道府県	奨学生					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	
北海道		11	6	5	9	31
青森	1			2		3
岩手		3	5	7	8	23
宮城	1	2	3	4	3	13
福島	1	5	6	9	5	26
茨城				3		3
千葉		4	1	3	2	10
神奈川		2		1		3
新潟				2		2
石川					1	1
静岡	1					1
愛知		1	1			2
福井	1					1
三重				1	1	2
兵庫		1		1	4	6
和歌山		3	3		1	7
鳥取		2			1	3
岡山					1	1
広島				1		1
山口					2	2
徳島				1	1	1
香川		1		1	1	3
愛媛		1	1	1	3	6
高知	1	1			1	3
福岡				1		1
福岡有明				1	2	3
佐賀				3	1	4
長崎		3	2	7	2	14
熊本		4	2	2		8
宮崎			1	2	4	7
鹿児島			1	3	4	8
沖縄		1	1	1		3
合計	6	45	33	61	59	204

注:給与奨学生には特別支援学生を含む。